新潟県松浜の池に生育するオニバス

笹原治*

Osamu Sasahara: *Euryale ferox* Salisb. growing at Pond Matsuhama in Niigata Prefecture

新潟県新潟市松浜の阿賀野川河口右岸の砂丘地の中に池があり、正式な名称は無いが通常松浜の池または松浜の沼と呼ばれている(図1).この池は絶滅危惧種の昆虫であるオオモノサシトンボ、オオセスジイトトンボの生息地として知られている(石月、1999).松浜の池は古くからある池ではなく、現在から30年前にできた池である.国土地理院撮影の航空写真によると、1965年には阿賀野川とつながった入り江状であったが1973年には現在のような独立した池となったことが確認できる.

松浜の池で1995年,1996年,1999年の3回に渡ってオニバスの生育が確認された.1994年以前に2回調査が行われているが(笹川,1989;リバーフロント整備センター,1995),オニバスは記録されていない.

1995年に葉柄を切られたオニバスの葉1枚が岸に打ち上げられているのが発見された。1996年には、池の3か所でオニバスが生育し開花しているのが確認された(笹原、1996)。1997年~1998年の2年間はオニバスの発生がみられなかったが、1999年には池の1か所でオニバスが生育し開花していることが観察された(図2、3)。

新潟平野には佐潟,福島潟,瓢湖などのオニバスの分布地があるが(笹川,1988),どのようにして独立した水域である松浜の池に侵入したのか不明である.

・水鳥などによる種子の運搬.



図1. 松浜の池の位置

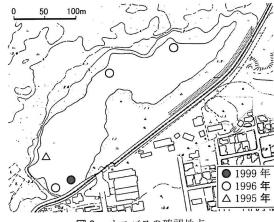


図2. オニバスの確認地点

- ・過去に堆積した阿賀野川からの土砂中の埋土 種子から発芽.
- ・人為的持ち込み(水草愛好家による種子散布, 釣り魚の放流に付随)

^{*}株式会社グリーンシグマ

などが推定できるがいずれであるか判断できない.

松浜の池は北緯37°57′にあり、オニバスの現存地の北限とされている福島潟(北緯37°54′) (大滝・石戸、1980)よりもわずかであるが北に位置する(図1). 現在松浜の池にオニバスが安定して生育しているとはいえないが、定着すればここがオニバス分布の北限となるので、継続して生育状況を調査していく予定である.

謝 辞

松浜の池を継続して観察し貴重な情報を提供してくださった,石月升氏をはじめとする松浜トンボ愛好会の皆様に感謝いたします.

引用文献

石月 升, 1999, オオモノサシトンボの棲む松浜の池. 昆虫フィールド No.9:40-45.

大滝末男·石戸 忠, 1980, 日本水生植物図鑑. 北隆 館.



図3. オニバス (1999. 9.23). 水面上で開花がみられた.

リバーフロント整備センター編, 1996, 平成5年度河 川水辺の国勢調査年鑑植物調査編. 山海堂.

笹川通博, 1989, 新潟市松浜のホザキノフサモ群落. 新潟県植物分布図集 第10集: 402.

笹川通博, 1989, オニバス. 新潟県植物分布図集 第 9集: 131-132.

笹原 治, 1996, 新潟市松浜の池のオニバス. 新潟県 植物分布図集 第17集:24.